

H29市民意識調査(アンケート)結果報告書(概要版)

調査期間	H30.1.25～2/14(21日間)
調査数	3000人(無作為抽出)
回答数	886人(前回H23:847人)
回答率	29.50%(前回H23:28.3%)

■検証結果

市が実施している施策の満足度を分野別にみると、「市民生活」と「健康福祉」の満足度が高く、「産業振興」の満足度が低くなっている。

また、重要度を見ると、全ての項目で中央値を上回っているが、相対的に見ると「市民参画・行政運営」の重要度が低くなっている。

個別の施策の満足度をみると、「ごみ収集、処理体制の充実」「保健サービスの実施や健康づくりへの支援」「リサイクル推進・ごみの減量化対策」などの満足度が高く、「公共交通機関の利便性の向上」「雇用機会の創出」「企業誘致の推進」などで満足度が低くなっている。

個別の施策の重要度を相対的にみると、「病院・診療所等の医療施設や救急医療の充実」「保健サービスの実施や健康づくりの推進」「防犯体制の充実」などの重要度が高く、「国際交流の推進」「民間企業やNPO団体等への業務委託の推進」「公営住宅の整備」の重要度が低くなっている。

これらの各施策の満足度と重要度の分布は図1のとおりであるが、市民の満足度が低く、重要度が高いものについては、今後更に取組を進める必要がある。

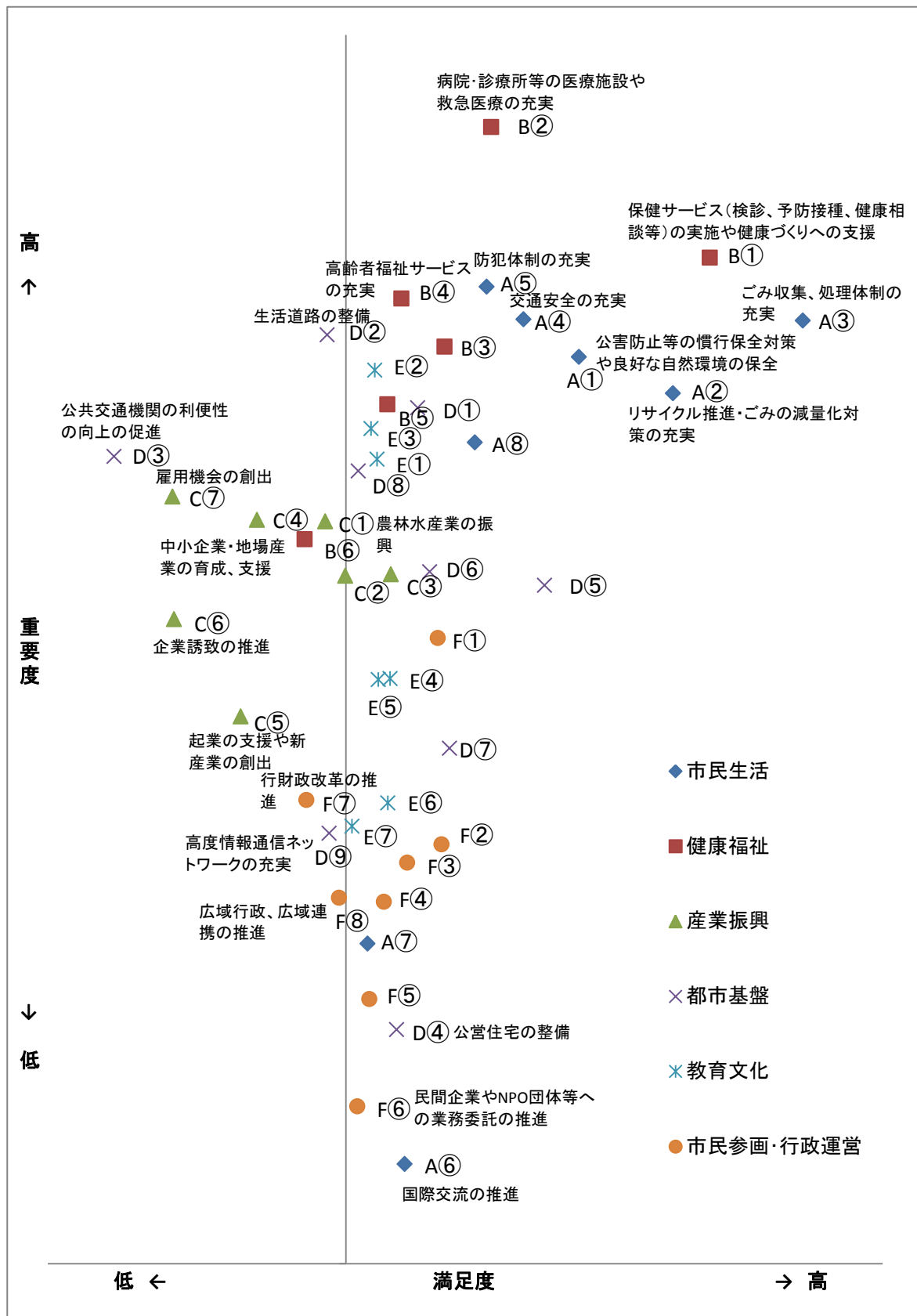
その主なものは、「公共交通機関の利便性の向上」「雇用機会の創出」「企業誘致の推進」「中小企業・地場産業の育成、支援」「地域福祉活動の充実に向けた人材育成と体制の整備」「生活道路の整備」「農林水産業の振興」「起業の支援や新産業の創出」「行財政改革の推進」「高度情報通信ネットワークの充実」「広域行政、広域連携の推進」となっている。

■分野別の満足度と重要度

	満足度		重要度	
市民生活	高い	3.33		2.58
健康福祉	高い	3.19		2.71
産業振興	低い	2.88		2.55
都市基盤		3.05		2.53
教育文化		3.05		2.53
市民参画・行政運営		3.06	低い	2.35

■各施策に対する満足度及び重要度の相対的な比較図

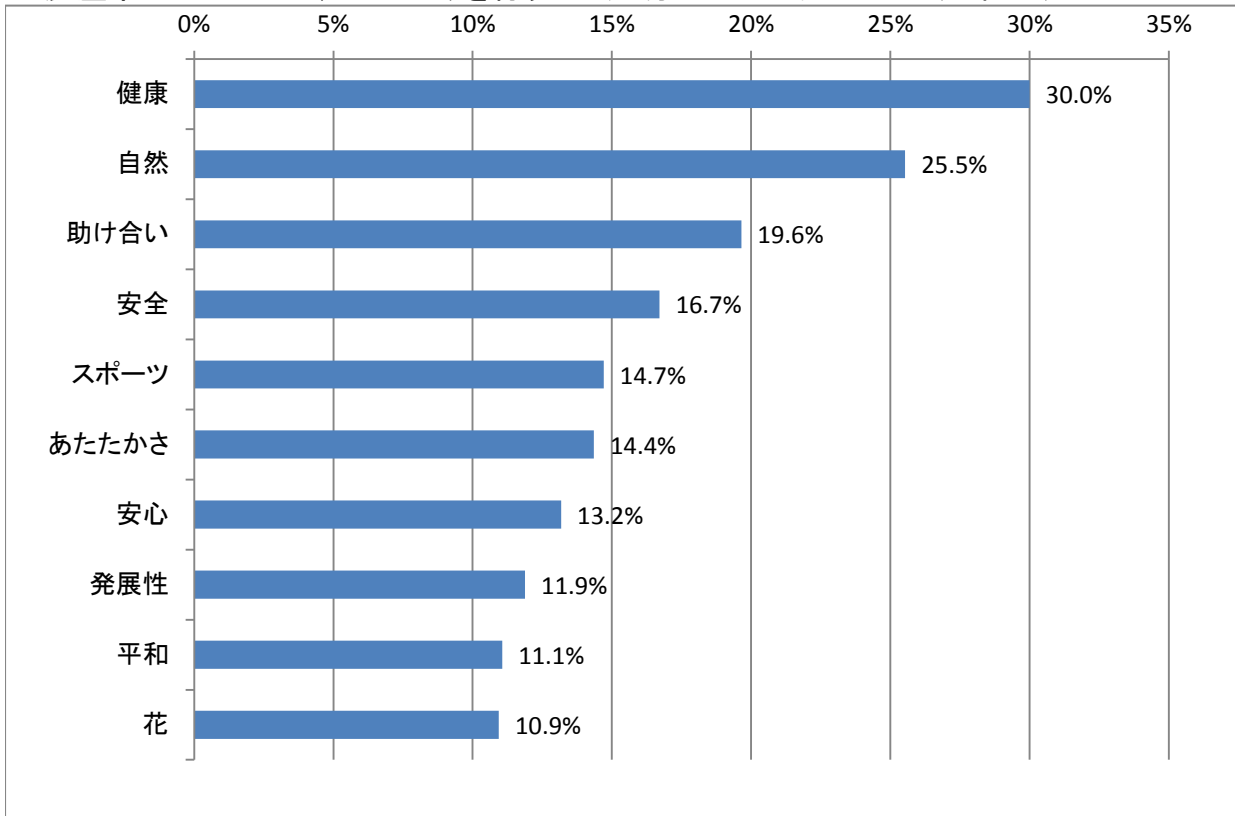
図1



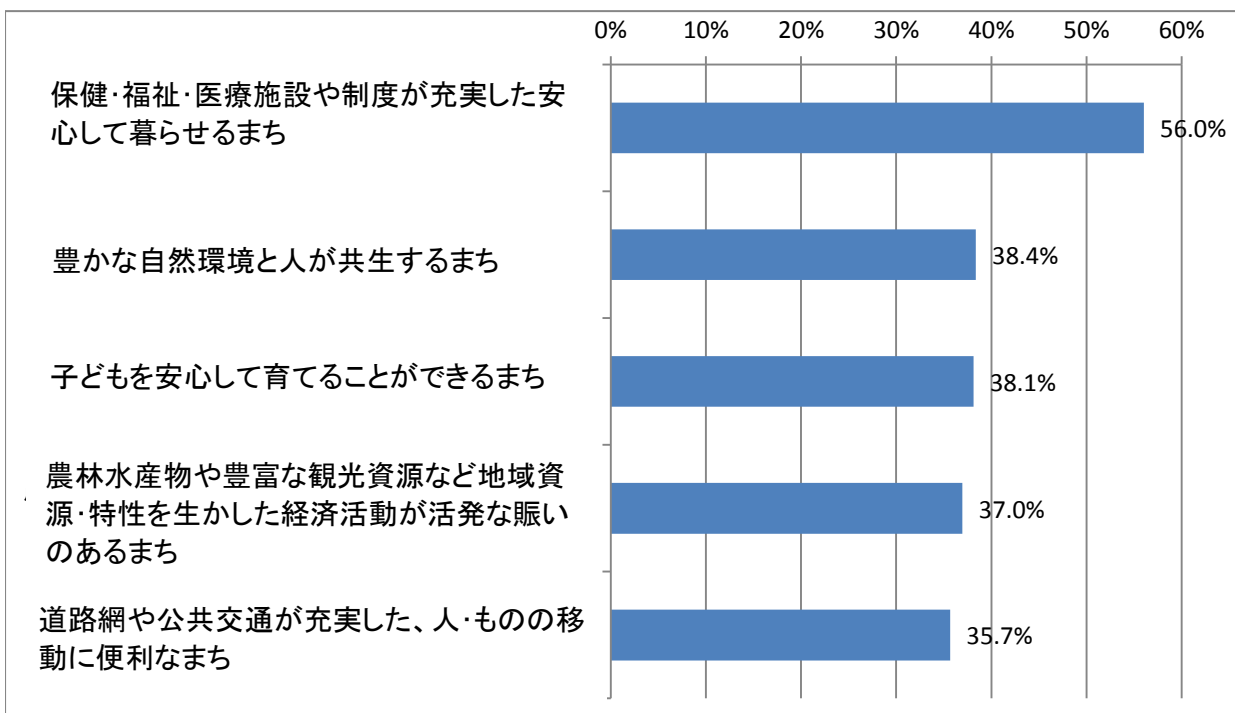
※このグラフは、各要素に対する評価を相対的に比較するため、「施策に対する満足度」及び「施策の重要度」をグラフに落とし込んだものである。

※各要素に対する評価は、それぞれの回答結果を点数化し、その平均値を評価値としている。

■ 鹿屋市のイメージや、まちづくりを行う上で大切にしたいキーワード(上位10)



■ 将来の鹿屋市は、どのようなまちになってほしいですか(上位5)



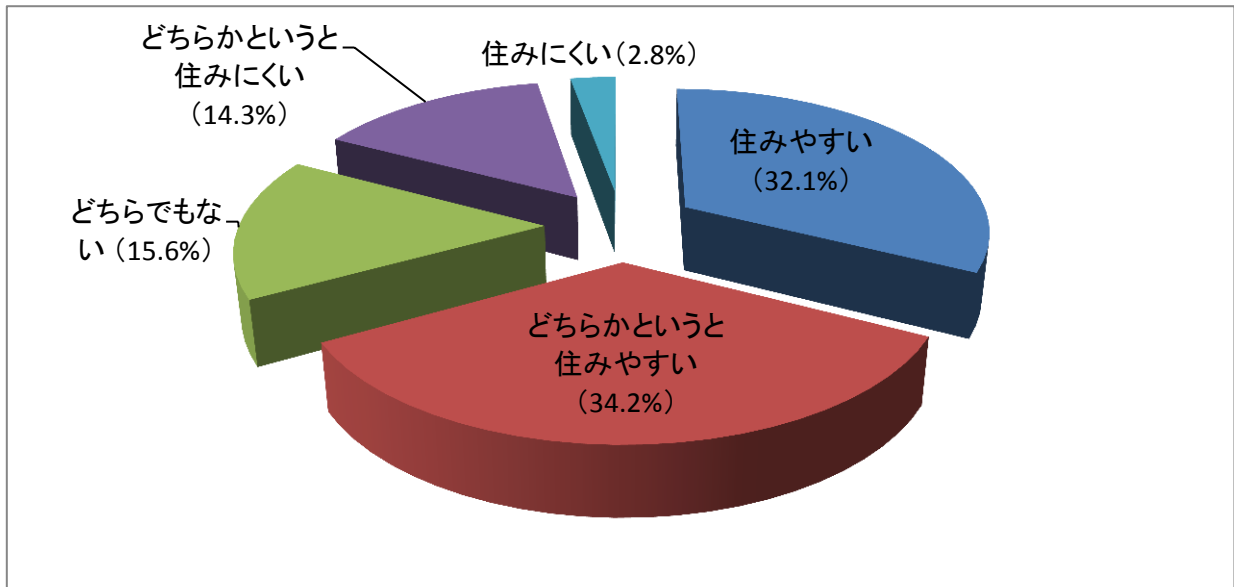
鹿屋市のイメージや将来の鹿屋市についての問いでは、健康や自然、安全安心などのキーワードが上位となっていることから、豊かな自然環境や医療福祉が充実し、安心して子育てができるまちづくりを希望していると考えられる。

また、自然（2位）、スポーツ（5位）、平和（9位）、花（10位）など、本市の地域資源・観光資源と関連のあるキーワードも上位となっている。

【参考】

■ 住みやすさ

図2



■ 未婚晩婚が増えている理由

図3

